

はくぶつかんネット

第11号

～ GINOWAN MUSEUM ～

2002年

9・10月

奇数月の15日発行
(次号は11月15日)

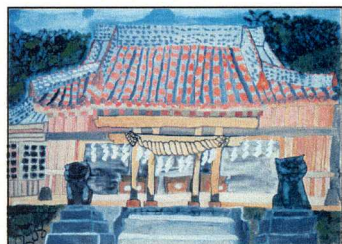
発行：宜野湾市立博物館

<TEL> 098-870-9317

<FAX> 098-870-9316

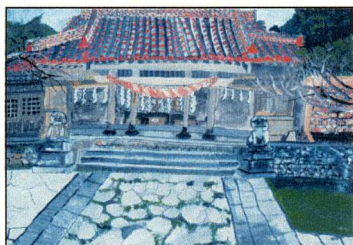
<ホームページ> <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

小学校中学年の部



▲ 下地千智さん (普天間小学校)

小学校高学年の部



▲ 下地悠太くん (普天間小学校)

中学校の部



▲ 盛山梨沙さん (宜野湾中学校)

↑ 昨年度の教育長賞作品 →
今年度もすばらしい作品
がそろっています。



博物館イメージキャラクター

天女ちゃんと察度

◆◆◆

平成14年度

市内小・中学生 文化財図画作品展

◆◆◆

開催期間：2002年 9月22日(日)～10月6日(日)

午前9時～午後5時まで 9月23日・火曜日は休み

入場無料

宜野湾市立博物館では、「第11回 宜野湾市の文化財図画作品展」を9月22日から2週間、開催致します。これは市内の小中学校の生徒から、市内にある文化財や伝統芸能、地域での行事、民話、伝説等をテーマにした図画を描いてもらい、そこから宜野湾市にはどういった文化財があるのか、どういった歴史や文化であったのかを実際に見て・感じて・知ってもらうことを目的としています。

今年も生徒たちに夏休みを利用して描いてもらい、9月9日(月)に各小中学校の図工・美術担当の先生方に審査してもらい、各賞を選出しました。今年の出展数は163点で、普天間神宮や森川の泉、綱引き、石獅子、エイサーなど様々なものが描かれていました。その中から教育長賞に輝いたのは、小学校中学年(3・4年生)の部で石川望愛さん(大山小学校)、小学校高学年(5・6年生)の部で山城龍之介くん(宜野湾小学校)、中学校の部で大浜龍元くん(宜野湾中学校)の3人でした。望愛さんは綱引きをする人々の楽しそうな様子が伝わってくる作品で、龍之介くんの作品にはキジムナーが描かれており実にユーモアたっぷりでした。龍元くんは普天間神宮をダイナミックに描いていました。

その他、金賞・銀賞・銅賞・入選の作品が、個々それぞれの表現で描かれておりますので、ぜひ市立博物館にお越しになってご覧ください。

平成14年度企画展

「宜野湾市の海と人々～つながり」好評でした

7月27日(土)から9月1日(日)までの日程で、平成14年度企画展「宜野湾市の海と人々～つながり」を開催しました。

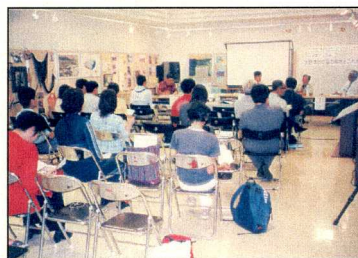
今回の展示会は、戦後の市の西海岸地区の変化や現状を通して、これからの市民と身近な海との関わり方について考えようという目的で行われました。

大人の方には、昔と今を比較した写真がとても懐かしかったようで、そのコーナーで足を止めて熱心にご覧になっていました。子ども達にとっては、潮だまりを再現したプールがとても気に入ったようで、今まで見ることはあっても触ったことがない海の生きものがどのような感じなのか知ることができ、喜んでいました。中には自然環境の悪化や海岸が減少していることについて考える機会をもったという感想も聞かれました。

また展示会に関連してオープニングセレモニーでは、市内のこがねの森保育園の園児たちに、「おさかな天国」を披露してもらいました。その他8月3日にはミニシンポジウム、8月24日・25日には海の観察会も行いました。ミニシンポジウムは「宜野湾市の海の現状とこれから」と題して、諸喜田茂充氏(琉球大学教授)と宮里正光氏(元漁業従事者・宇地泊区)、加納貢氏(長田小学校教諭)の3名の発表者と、司会・進行役の宮城邦治氏(沖縄国際大学教授)によって、身近な海の現状やこれからの活用の仕方についてのお話があり、参加者からはとても有意義だったと好評でした。



▲ 展示会場



▲ ミニシンポジウム

平成14年度企画展「宜野湾市の海と人々～つながり」関連事業

海の観察会 in トロピカルビーチの報告

企画展の関連事業として、8月24日(土)と25日(日)の2日間、「海の観察会 in トロピカルビーチ」を開催しました。参加者は2日間で58名でした。潮の満ち干きの関係で、正午から午後3時までと暑さの厳しい時間帯でしたが、参加者の方々は生きものを採取する間は暑さを忘れるほど夢中になっていました。

子どもから大人までいろいろな生きものを採取した後、各自で調べてもらい、報告会を行いました。講師の成瀬貫さん(琉球大学博士号課程)と長井隆さん(琉球大学博士号課程)の丁寧な説明で、参加者はこんなにいろいろな生きものがいるということに驚いていました。身近な海なのに、そのことをこれまで知らなかったという方が多かったのが印象的でした。

海の生きものを育てるのは難しくて根気がいることなので、採取した生きもののほとんどは海に帰しましたが、一部は博物館のロビーで今でも飼育しており、博物館に来たら見ることができますよ。

▲ 大山ターンム畑
旧海岸線を見学▲ トロピカルビーチ
左手の干潟で生きものを採取

◆平成14年度 第2回講演会のご案内◆

宜野湾市の洞窟めぐり

講師：新垣 義夫（普天満宮宮司）

昨年のご好評につきまして、今年も「市内の洞窟めぐり」を行うことになりました。
今回は普天間基地内にある洞窟も見学する予定です。

期日：2002年 11月4日（月） 午後1時～5時

博物館に集合し、バスで移動（普天満宮洞穴→普天間基地内の洞窟）

定員：20名

★要申し込み

9月28日（土）～10月13日（日）午後5時まで、電話にて受付けます。

※小学校低学年以下の子どもの場合、親子でご参加ください。

★申込み多数の場合は抽選。市内在住・在勤・在学者が優先となります。ご了承ください。

★雨天の場合は講演会に変更します。

◎詳しい日程や当日用意していただくものについては、参加者に連絡します。



夏休み親子体験教室

親子で豆腐づくりを楽しみました

夏休み期間中の8月18日と31日に博物館において、夏休み親子体験教室「豆腐づくり」を行いました。今回は昔の家庭でつくられていた豆腐を石うすや昔の道具を使って再現しました。

初めて回す石うすに親も子どもも興味津々。大豆をきれいに挽くのが意外と難しく、親と子どもでいろいろと相談しながら石うすを早く回したり、遅く回したり、水を入れたりと四苦八苦しているようでした。最後に豆腐ができると、自分たちで苦労してつくった豆腐のおいしさに参加者全員が驚き、そして喜んでいました。

今回の体験教室を通して、親子で楽しみながら豆腐づくりの知恵や苦労を感じることができたのではないのでしょうか。



▲ 豆腐づくりの様子



○ 市民課が博物館ロビーにて証明書の交付を行っています

～7月1日から市民経済部市民課が、市立博物館ロビーにて証明書の交付を行っています～
住民票と印鑑証明について、市立博物館のロビーに設置された、交付の窓口にて申請を行えば、発行されるという仕組みです。

★注意事項 1) 火、土・日、祝祭日は休みです。

2) 午前9時30分～午後4時まで受付します。

※前回のネットで、問い合わせ電話番号の記入の間違ひがありました。申し訳ございませんでした。

870-9383ではなくて、**870-2349**です。

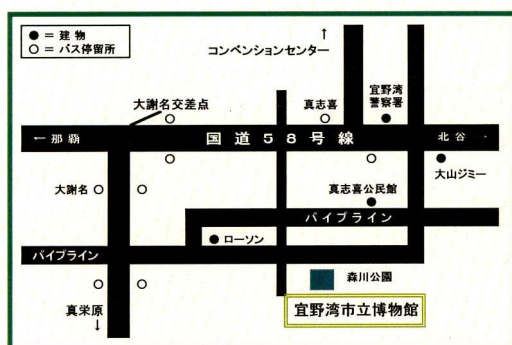
平成14年度の事業あんない

月	日	曜 日	内 容	期 間
9	22	日	平成14年度 市内小・中学生文化財図画作品展	10月6日まで
10	下旬	日	平成14年度 第1回講演会「闘牛について(予定)」	
11	4	月	平成14年度 第2回講演会「宜野湾市の洞窟めぐり」	
	9	土	第3回 新収蔵品展	12月8日まで
12	上旬	日	平成14年度 第3回講演会「しめ縄作りかパーキ作り(予定)」	
1	下旬	日	平成14年度 第4回講演会「古酒のつくり方(予定)」	
2			企画展「宜野湾・沖縄のなつかしい風景(仮名)」	

※ 日時や内容は未定のものがありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から

